



第4次泉大津市総合計画学生会議

(平成25年11月～平成26年3月)

参加のしおり

名前

第4次泉大津市総合計画学生会議へのご応募
ありがとうございます。

この冊子は、学生会議を円滑に進めていくため
事前にお伝えしたい内容を記載した「しおり」です。

事前に通読の上、学生会議へご参加ください。
よろしくお願いいたします。



泉大津市

目 次

- 1 総合計画づくりについて..... 1
- 2 学生会議の目的・役割等..... 2
- 3 学生会議等の開催予定 5

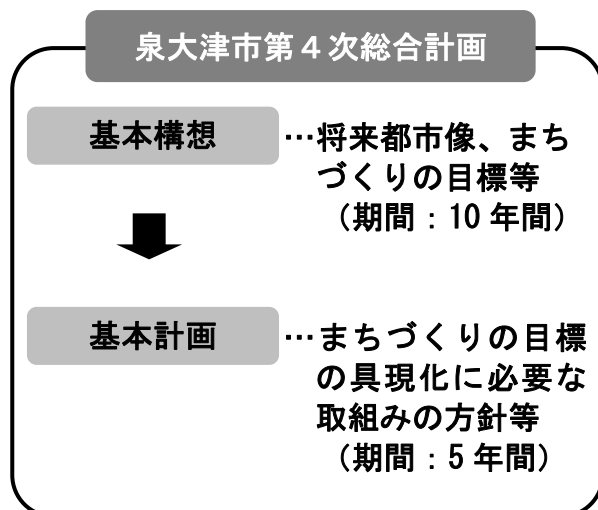
1 総合計画づくりについて

(1) 総合計画ってなに？

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成されています。

総合計画では、将来における泉大津市の「あるべき姿」と「進むべき方向」を示す「まちづくりの指針」となるもので、本市の最上位の計画に位置づけられるものです。

つまり、「泉大津市をこんなまちにしたい」という「まちの将来像」を描き、それを実現するために「行政や市民が取り組むべきこと」を定める重要な計画です。



(2) 総合計画づくりで考慮する点

第4次総合計画をつくるにあたり、以下の点を特に考慮してつくりま

市民参加で総合計画をつくりま

市民会議をはじめ、市民アンケート調査などを通して、市民の声を反映させながら総合計画をつくりま

目標数値を設定して計画を管理しま

総合計画を絵に描いた餅にしないよう、計画がどれだけ達成できたか測ることができるよう目標数値を設定し、計画の進み具合を管理しま

様々な分野の計画と整合させま

泉大津市には、総合計画に限らず、各部課がつくっている様々な分野の計画（泉大津市都市計画マスタープラン、第3次泉大津市地域福祉計画…etc）があるため、これらと内容を整合させた総合計画をつくりま

(3) 計画づくりの体制

第4次泉大津市総合計画は、平成25～26年度の2年間でつくりま

この計画は、アンケート調査や市民会議、パブリックコメント*等の多様な市民参加のもと、市職員による検討や、有識者からの指導・助言、さらには、この「学生会議」による提案などを踏まえながらつくり上げていきます。

*パブリックコメント：平成26年度に計画の素案を公開し、市の広報・ホームページ等を通して、全市民（市内への通勤者含む）から素案に対する意見を募集しま

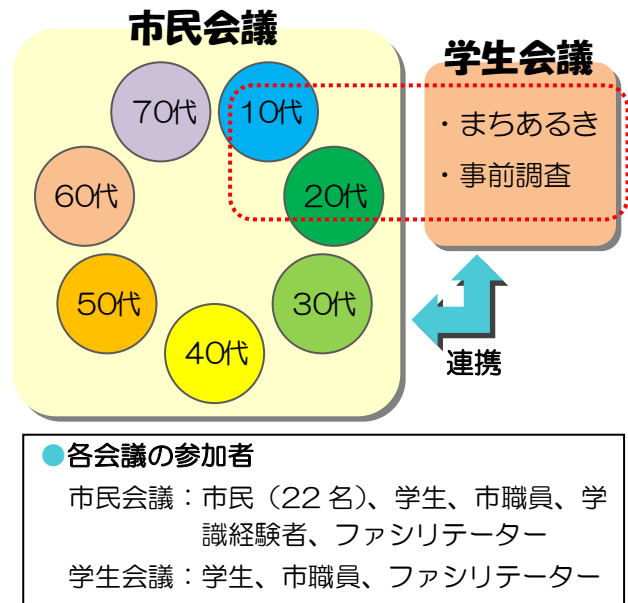
2 学生会議の目的・役割等

(1) 学生会議の目的

今後10年間の泉大津市のまちづくりの指針となる「第4次泉大津市総合計画」を策定するにあたり、市民の意見を直接的に取り入れるため、多様な世代が集う市民会議を開催します。

学生会議はその一翼を担い、市民会議と連携を図りながら進めていきます。

そのため、以下の項目では、学生会議と市民会議の両方について概要を説明します。



(2) 学生会議・市民会議の進め方

会議では、「将来の泉大津市の姿」や「市民のまちづくり提案」といったテーマを中心に話し合っただき、意見のまとめを行います。

まず、泉大津市の自慢できるところ、変えたいところなどについての自由な意見交換から始めて、アイデアや提案を出していただきながら、泉大津市の目指すべき姿について一緒に考えていきます。

学生会議は、市民会議の事前にグループで調査・検討を行います。その結果を市民会議で発表・活用することで、市民会議の議論が効果的に進められます。

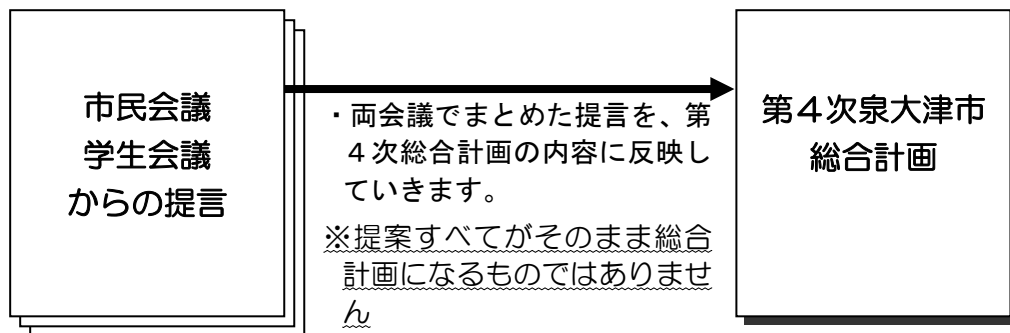


(3) 学生会議・市民会議の役割

(1)、(2)を踏まえて、「学生会議」「市民会議」に期待される役割は次のようになります。

- まちづくりに関する課題などを提示していただき、理想としているまちとなっていくための具体的な解決方法や取組内容を提案していただきます。
- 特に、学生のみなさんには、客観的（外からの視点）、かつ、若者の自由な視点で、市民と同じ内容について検討していただきます。

- 市民会議では、「検討テーマ」に沿ってグループ毎に意見を出し合い、話し合った内容を取りまとめ、第4回目の市民会議（発表会）で提言します。



- 学生会議・市民会議終了後も、市民とともに提言した「将来の泉大津市の姿」を実現していくため、泉大津市のまちづくりに関心を持ち続けるとともに、できることからまちづくりの活動に関わっていきましょう。

(4) 学生会議・市民会議の実施方法について

会議は以下に示すようなワークショップ形式で進めていきます。

① ワークショップってなに？

ワークショップとは、アイデアを出し合い意思決定をする集まりで、会議の一種です。しかし、“会議”といっても、通常の堅苦しい会議ではありません。

わかりやすく言うと、ゲーム的な要素を取り入れ、居間でくつろぐような雰囲気を楽しみながら会議をすることであり、こうした雰囲気の中で、参加者が自由に意見やアイデアを出し、話し合いながら、成果を参加者自身でまとめあげていく検討方法が「ワークショップ」です。



② ワークショップの進め方

●グループ編成

- ・意見交換をしやすいするためグループを編成して、グループ単位で検討を行います。（市民会議では、市民の各グループに学生が数人ずつ分かれて参加します）

●進行・意見のとりまとめ

- ・グループでの話し合いはメンバーが主体となって行いますが、議事進行等のグループのリードは事務局スタッフがお手伝いします。

- ・学生会議では、学生のみなさんに各回の成果をとりまとめていただくとともに、その後の市民会議で、とりまとめた内容を報告していただきます。
- ・市民会議では、各回で出された意見などは、事務局でとりまとめ、次回開催時までに参加者のみなさんにご報告します。

＝ ワークショップの心得 ＝

- ・参加にあたっては、自主性（自発性）を存分に発揮しましょう。
- ・参加者相互の立場を尊重し合いましょう（他人の非難・中傷はご遠慮下さい）。
- ・参加者全員が目的など基礎的な共通認識を持って進めましょう。

ワークショップって、こんな感じ・・・

グループ検討では、ポストイットを使った「意見カード」を作ることで個人意見を吸い上げ、KJ法^{*}やデザインゲーム^{*}、シールゲーム^{*}等の手法を用いて意見を集約します。

意見カードを模造紙に貼り、わかりやすく整理します。各回の最後には、模造紙を使って参加者全員で検討した内容を発表しあいます。



- *KJ法：類似する意見をグループ化しながら一つの方向性を導き出す方法。
- *デザインゲーム：提案内容をイラスト・写真化し、紙面上にレイアウトしながらより詳細な検討を行う方法。
- *シールゲーム：シールを使った投票を行い優先順位決定する方法。

3 学生会議・市民会議の開催予定

(1) 学生会議・市民会議の日程

今年度各4回ずつ実施する学生会議・市民会議のプログラム（予定）は以下のとおりです。※細かな時間やプログラムの詳細については、各回の事前にお知らせします。

| 回 | 学生会議（市民会議の事前会議）のプログラム案 | 市民会議のプログラム案 |
|-----|--|---|
| 第1回 | 11月30日（土） 13時～17時 ○泉大津まち歩きとワークショップ！ ・まち歩きした上でワークショップ（泉大津市の良いところ・悪いところ） →とりまとめ | 12月14日（土） 13時～16時 ・まち歩き ・班別ワークショップ（泉大津市の自慢できるところ・変えたいところ） |
| | 1月中旬 ○泉大津の課題の実態に迫る！ ・総合計画の基礎調査等で抽出された市の課題に係る施設（公共施設・事業所）等にヒアリング→会議でとりまとめ | 1月25日（土） ・班別ワークショップ（第1回市民会議で参加者の関心が高いトピックの課題等の共有、解決方策の提案など） |
| 第3回 | 2月中旬 ○泉大津市の将来を描いてみよう！ ・学生の視点で市の都市将来像について議論→とりまとめ | 3月1日（土） ・班別ワークショップ（泉大津市の将来都市像、まちづくりの目標などについて） |
| | 3月中旬 ○学生目線、市民目線を比較しよう！ ・第1～3回事前会議、市民会議の振り返り・比較→とりまとめ | 3月29日（土） ・班別の発表会 |

(2) 第1回学生会議の詳細

| 時刻 | プログラム（予定） | 場所 |
|---------------|--|-------------------------|
| 13:00 集合 | ・挨拶、自己紹介 ・主旨、進め方を説明します | 集合：松ノ浜駅 改札 |
| 1時間30分 程度 | ・2班に分かれて、まち歩きツアー（徒歩）を行います。 | スタート：松ノ浜駅 ゴール：北助松駅 |
| 移動後、 1時間程度 | ・班別ワークショップ、班別発表を行います。（泉大津市の気に入ったところ・変えたらいいなと思うところについて） | 移動：北助松駅～泉大津駅～市役所（班毎に移動） |
| 16:30 解散予定 | ・12月14日の市民会議に向けた準備について説明して閉会 | 解散：市役所 |

